

7月31日のウクライナ情報

安齋育郎

●IMF が言った！ロシア経済は予想以上に好調だ(2022年7月27日)

下の映像は、この間にお伝えしたドイツのガス不足やラブロフのアフリカ訪問なども含めて概括的にウクライナ戦争がらみで起こっていることを理解するには参考になるでしょう。

<https://youtu.be/mzDNd4BIb6U>

●スコット・リッターのロシア軍評(2022年3月1日、再送)

「ロシア軍はウクライナ人を無差別に殺している」「ロシア軍は非人道的だ」と誤解している人々が多い中では、下のようなコメントは「ロシア贖戻」と思われがちですが、元国際連合大量破壊兵器廃棄特別委員会(UNSCOM)主任査察官のスコット・リッターの言うことにも聞きましょう。

<https://odysee.com/@%E6%83%85%E5%A0%B1%E6%8F%90%E4%BE%9B%EF%BC%88%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%EF%BC%89:f/%E3%82%A6%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%8A%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E3%83%AD%E3%82%B7%E3%82%A2%E8%BB%8D%E3%81%AE%E8%A1%8C%E5%8B%95%EF%BC%88Scott-Ritter%E6%B0%8F%E3%81%AE%E5%88%86%E6%9E%90%EF%BC%89:4>

※安齋注:スコット・リッター氏は元国際連合大量破壊兵器廃棄特別委員会(UNSCOM)主任査察官、評論家で、1991年から1998年にかけて、イラクにおける大量破壊兵器捜索のための国連主任査察官としてアメリカの中東に関する外交政策(主に対イラク政策)を批判し、イラク戦争反対運動に参加しました。またトーク番組の解説者でもあります。

●ウクライナ軍 は、多連装ロケット砲でザポリージャ州の麦畑に放火(再送、2022年7月21日)

※安齋注:この映像は一度消されたようですが、消された映像を復活させるノウハウを知っている人が復活させました。いったい、ウクライナ軍は何のために麦畑を焼いたのか。「ロシアのせいにするため」としか考えられませんが、砲撃の過程から映像が出てしまったので消したのでしょうか？ウクライナ軍にとって貴重な多連装ロケット砲を使ってかなりの規模の砲撃を展開しているからには、何らかの軍事的な目的があったに相違ないでしょう。どう思いますか？ウクライナが「ロシアのせいにする」フェイク映像を多用していることは周知のことですが、ウソで憎悪を掻き立てるやり方には憤りを感じます。「実弾」をもっていないので、「虚弾」や「偽弾」を使うのでしょうか。

<https://odysee.com/@Sputnik%E6%97%A5%E6%9C%AC:b/%E3%82%A6%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%8A%E8%BB%8D%E3%80%81%E9%BA%A6%E7%95%91%E3%81%AB%E7%A0%B2%E6%92%83:5>

●EU は 8 月からガス使用量を 15%削減、ハンガリーは EU を非難(2022年7月28日)

※安齋注:WION(World Is One)のニュース(トゥデイ/トゥナイト)の解説です。内容的にはすでにお送りしたいくつもの情報でご存じのことですが、EU の深刻さを概観できます。WION は約650万人が登録しているニュース・チ

チャンネルです。

<https://youtu.be/lcM7P2tvPLM>

●ロシア西部軍がハリコフで地雷除去(2022年7月29日)

<https://twitter.com/Jano661/status/1552682169197539328?t=O0fynrp1fkpKbi2osZ5aQg&s=09>

※安齋注:こりゃあ、大変だあ。以前に日本の会社(株式会社日建)が、地雷を除去する機械を開発したというので、立命館の平和学の講義に雨宮清・会長をお招きしたことがありましたっけ。これを送りたいね。



●非友好国リスト(2022年7月29日現在)



●ウクライナ第 115 旅団の兵士 2 人が車のトランクから出た(2022 年 7 月 29 日)

<https://twitter.com/littlemayo/status/1552885653360193536?t=Z2qRxIEvF1sJKx1A8gaN3g&s=09>

※安齋注:ウクライナ軍第 115 旅団といえば、前に送りましたが、セバロドネツクでの戦闘命令を拒否した部隊です。第 115 旅団第 3 大隊の小隊は、ゼレンスキー大統領とウクライナ軍ザルジニー総司令官に次のようにアピールしました。「背後からの援軍がないため、戦闘任務の遂行を拒否する。重装備もない。2週間も援軍を待っているが、何もない。我々は確実に死に追いやられる。司令部が欠落している。技術もなく、人々への敬意もない。ウクライナを守ることを拒否しているわけではないが、このような状況では戦闘任務を遂行することはできない!」。上の映像の二人は、車のトランクに隠れるという方法で逃亡したんですね。楽しくないけど、死にたくなかった。

●ウクライナ大統領府の顧問を務めるオレクシー・アレストビッチ(再送か?2022 年 5 月 5 日)

<https://twitter.com/chocoluna0369/status/1522042331599638528?t=B-85ga3IODaS2FYcappUbA&s=09>

※安齋注:オレクシー・アレストビッチ氏はウクライナのブロガーで俳優。政治および軍事コラムニストでもある。現在、ウクライナ大統領府顧問。1998 年にオデーサ士官学校を卒業。2005 年までウクライナ国防省情報総局で働いていた。

●第 15 回国防相会議での異変(2022 年 7 月 29 日)

タス通信によれば、アルゼンチン、ブラジル、メキシコがロシアのウクライナ紛争を非難する米国の立場に加わることを拒否した。カナダ、コロンビア、ドミニカ共和国、エクアドル、グアテマラ、ハイチ、パラグアイ、アメリカはこれを強く非難した。34 か国が参加。



●オーストリアのカール・ネハンマー首相、EU に異論(2022 年 7 月 29 日)

「EU がロシアからのガスを禁輸することは不可能であり、EU 自体に害を及ぼすことになる」と、オーストリアのカール・ネハンマー首相は言った。同首相は、また、「ウクライナを取り巻く状況は対ロシア

制裁が EU が期待したほどの効果がないことを示している」と苦言を呈した。



●ウクライナ、売春の合法化へ(2022年7月29日)

ウクライナ人では予算の穴を埋めるため、売春を合法化することが提案されています。その旨の請願書が大統領府のホームページに掲載されましたが、「愛を売るビジネスを合法化することで国家が税金で予算を補充することができる」と書かれています。ウクライナでの売春はこれまで違法でしたが、広く行き渡っており、政府はほとんど放置してきました。

№22/153972-еп

Легалізувати **проституцію**

Автор (ініціатор): Дрелінський Сергій Сергійович
Дата оприлюднення: 26 липня 2022

ВІДПОВІДЬ НА ПЕТИЦІЮ | ТЕКСТ ПЕТИЦІЇ | ПІДПИСАНТИ

Легалізація проституції є складовою базового принципу демократичного суспільства - свободи волі та має низку позитивних наслідків:

Prostitution (売春)

1675
голосів з 25000
необхідних

Статус: Триває збір підписів
Залишилося 91 день

●ウクライナ軍がアメリカ製マイアースでウクライナ兵捕虜施設を攻撃(2022年7月29日)

ロシア TV によれば、ウクライナ軍が、イエレノヴカにあるアゾフスタル投降兵が収容されている施設をアメリカ製ハイマース・ロケットで攻撃、40人が死亡し130人が負傷したと伝えています。なぜ自国の兵士を殺すのかは明白で、事情聴取や裁判の過程でウクライナに不利な情報を言ったり、寝返ったりしないようにするためでしょう。口封じ作戦ですね。



※安齋注:しかしこの事件、西欧ではさっそく「ロシアが殺した」と報じられているのです。典型的な歪曲事例です。「ロシアは、アゾフスターリで投降し、オレニヴカに収容されていたウクライナの捕虜を処刑した。ロシアはウクライナの捕虜が収容されている建屋を砲撃し、40人を殺した」。(ウォルター・レポート)



捕虜はロシア軍にとっては、ウクライナのネオナチの実態を解明して、世界に客観的に実態をアピールするための重要な存在ですから「口封じ」をするなどということは考えられません。殺すつもりならその機会がいくらでもあったはずですし、「調べが終わったから用なしになって殺したのだろう」という批判は全く当たりません。なぜなら、ロシア軍が国連の立ち合いもなく捕虜に尋問して「こう言っていた」などと国際社会に訴えても客観性がありませんから、捕虜の裁判を通じて公然とネオナチの実態を明らかにすることこそが不可欠です。手持ちの大事な切り札を自ら捨て去るようなことは考えられません。

●「それは定義が違うからです」(万能の答えだ、2022年7月29日)

「リセッション」(景気後退、不景気)とは「2 四半期連続で GDP がマイナス成長すること」と定義され、いつもこの定義が使われてきた。しかし、バイデン政権はその定義を変えてまでも、「われわれはリセッションではない」と言い張っている。記者のズバリ質問に、ホワイトハウス報道官が、平然と「それは定義が違うからです」と答えた。便利な答えだ。